

地域情報

一般社団法人熊本県野菜振興協会上益城支部

イチゴの花芽検鏡、定植始まる

上益城地域のイチゴ生産は中山間地の山都町で約4.3ha、平たん地の嘉島町・甲佐町で約4.7ha、栽培されています。

8月27日より山都町で花芽検鏡を始めました。今年は育苗期間が平年より気温が低く、花芽分化は平年より3日程度早くなっています。定植のピークは「紅ほっぺ」が9月3日、「さがほのか」が9月7日となっています。9月7日から平坦地の花芽検鏡も始まり「さがほのか」は3日程度平年より早くなっています。

11月上旬には山都町より本格的な出荷が始まり翌年の6月末までに出荷量約300t、販売金額約3億円の出荷が行われます。嘉島町では県育成イチゴ品種「ひのしずく」、山都町では高設栽培が導入され各地域特徴ある栽培がおこなわれています。平成28年度には「熊本V S O 3」の栽培も計画されています。

支部では、花芽検鏡のほかに、展示ほ設置、生育調査を実施しながら生産向上を図っています。



花芽検鏡の風景



定植の風景